

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

令和2年10月7日 第136号
浜田市農林業支援センター

ごあいさつ

いよいよ、実りの秋を迎えました。

例年なら、各地の氏神様を祭る神社では秋祭りが行われ、石見神楽の軽快なお囃子が聞こえてくる時期ですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、お祭りを自粛・縮小される地域も多く、少し寂しい秋となりました。

新型コロナウイルスの影響はこれからも続きますが、さらにこれからの季節はインフルエンザにも気を付けなければなりません。うがい・手洗いなど基本的な対策を徹底し、感染予防に努めましょう。

（浜田市農林業支援センター長 石原孝光）



1. 「浜田の顔：西条柿」支援担当者からの話題！

令和2年10月1日（木）、内村町のJAしまね浜田柿選果場にて、いわみ中央西条柿生産組合の「初出荷式」が行われました。

今年は春先に乾燥した状態が続き、6月に急激な大雨となった気候の関係から、生育してきた実が落ちてしまう現象が起き、収穫量が非常に少なくなっているとのことでした。

そうした影響もあり、稲垣生産組合長からは生産組合が掲げる目標出荷量も少なくなるとの挨拶ではありましたが、品質については、例年同様に良質であるとのことでした。

今年は、天候にも左右されましたが、初出荷式を無事に行えたのは生産組合のみなさまの日頃のご努力の賜物だと感謝しています。



出荷式で挨拶される稲垣組合長

2. 集落営農組織アンケートを実施しました！

集落営農組織は、地域農業の担い手として重要な役割を担っています。しかしながら、集落営農組織の中においても、組織を支える後継者の不在や労働力の確保ができないとの声が出ていることもあり、組織の現状の実態と将来の組織の意向等を把握するため、本年7月にアンケートを行いました。

アンケート結果を見ると、組織としての課題（人材確保等）も多くみられ、改善を行っていく必要があることがわかります。

市としましては、今後の地域農業を守るには個人の努力だけでは限界を向かえることも考えられ、集落（組織）全体、または、近隣集落との協力体制も構築し、地域の農業を守っていく取り組みが必要と考えています。

アンケート結果をもとに、さらに聞き取り等を行っていき、改善のお手伝いをしていきたいと思っています。



集落営農のアンケートについて
協議する県と市の職員

アンケート結果の一部を、別紙のとおり掲載していますので
みなさんも確認してみてください。

アンケートにご協力いただきました集落営農組織のみなさま、誠にありがとうございました。アンケート結果につきましては、後日送付いたします。

3. 「除草対策について」 = 弥栄自治区内の取組み実例 =

(「センチピードグラス」については、TEGO ネット日より 135 号でも紹介しています。)



今年 7 月初旬に吹き付けた畦畔

弥栄自治区では、農地を守り地域を守るため、除草対策として「センチピードグラスの吹付」作業を一般社団法人 奥島根弥栄 が主体となって取り組んでいます。今年も 4 集落で約 6.5ha の吹付を行いました。除草剤散布や焼却など、吹付前後の管理は大変な作業ですが、個人ではなく集落で協力して作業をすることにより、作業負担の軽減につながります。

また、一般社団法人 奥島根弥栄 ではオペレーターを各集落から出役してもらうことで集落の枠を越えた繋がりを生んでいます。

現役世代、また次世代の除草作業の負担が軽減されるよう、市としても今後もこの事業を推進していきます。

さらに、一般社団法人 奥島根弥栄 は除草対策の新たな対策として「除草ロボット」を導入しました。今年度は本格稼働に向けた試行期間と位置づけ、

PR を兼ねて町内の集落を巡回し、作業可能な農地や障害物の把握、受託料金の決定を行います。

操縦するオペレーターは、非農家を含めた町内の若者が中心となって結成する「草刈隊」が担うことで、自分たちができることから先ず始めるという意識と、次世代の農業者としての意識を仲間同士で構築していきます。今後、高齢化や担い手不足により農家が減少していく中で、有効な対策となるために地域全体で進めていきます。



導入した除草ロボット
(神刈 RJ700)



4. 令和 3 年産 作付面積意向調査書の提出について

浜田市農業再生協議会では、先般、水田の『作付面積意向調査書』を対象者の方へお送りしております。ご確認の上、提出していただきますようお願い致します。

今回の調査は「令和 3 年産の作付希望調査」であり、島根県農業再生協議会からの令和 3 年産の「生産数量の目安」の提示の参考資料とさせていただくものです。

◇提出期限 令和 2 年 10 月 30 日 (金)

◇提出場所 JA 各支店・事業所・営農経済センター・浜田市農林業支援センター

5. 支援センターの人事異動について

この度、当支援センターの職員に人事異動がありました。再生協議会事務局次長として、令和元年 9 月よりお世話になっていました的場信也職員が令和 2 年 9 月 30 日付けで退職し、後任で 竹田 稔職員が着任しております。年度途中での新たな体制となりますが、よろしくお願ひします。

この度、浜田市農林業支援センターでお
たけだみのる
世話になります 竹田 稔 です。
一日でも早く、農業者の皆様にお力添え
できるよう頑張っております。

1 年という短い期間でしたが、大変お世話になりました。
浜田市農業再生協議会での仕事を通して、旧知の方々には良くいただきましたし、新たな出会いもたくさんありました。皆様の益々のご活躍を祈念し、お礼のあいさつをさせていただきます。ありがとうございました。
的場 信也

当情報誌は、新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。ご意見や掲載をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行 浜田市農林業支援センター (農林振興課 普及支援係)

〒697-8501 島根県浜田市殿町 1 番地 (浜田市役所 4 階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.lg.jp